

ソマリア沖・アデン湾における海賊問題



ソマリア沖・アデン湾における海賊問題の現状

海賊事件は、従来よりマラッカ・シンガポール海峡をはじめとする東南アジアやインド周辺などで多発してきた。ところが2007年頃から、それまであまりスポットが当たってこなかったソマリア沖・アデン湾において海賊事件が急増している。東南アジア等で発生してきた海賊事件とアデン湾で急増している海賊事件との大きな違いは、前者が船内の金品を目標として、人質を取ったり、船員に危害を加えたりするのに対し、後者は機関銃やロケット砲といった重火器で武装し、船舶ごとハイジャックして身代金を要求する。事態は極めて悪質で、より深刻と言えよう。

右上図に示したとおり、アデン湾はアジアと地中海・欧州域とを結ぶ海上交通の要衝にあり、わが国にとって、また世界各国にとっても、必要な物資の輸送に欠くことのできない航路となっている。

この海域を通航する船舶は、世界全体で年間約2万隻と推定されており、日本船主協会が会員船社を対象に実施した調査では2007年に2181隻、2008年に2103隻、2009年には1784隻の会員船社が運航する船舶が通航している。なお、2009年の通航隻数が減少しているのは、世界経済の悪化による荷動量の減少によるものと思われる。

アデン湾における海賊事件の発生件数を見ると、2007年には47件（うちハイジャック11件）であったが、2008年には111件（同42件）、さらに2009年には217件（同47件）とこの3年間で5倍増となっている（【表1】参照）。

【表1】ソマリア沖・アデン湾における海賊発生状況

	2007年	2008年	2009年
海賊事件（未遂含む）	47件（2件）	111件（12件）	217件（2件）
ハイジャック事件	11件（1件）	42件（5件）	47件（0件）

※カッコ内は日本の企業に關係する船舶における事件

日本船主協会の活動とわが国の海賊対処活動

（1）日本船主協会の要望活動



金子国土交通大臣（当時）に要望書を提出

上述のような海賊事件の急増に加え、2008年4月に日本籍大型タンカーがソマリア沖で海賊と見られる不審船に襲撃されたことを受け、日本船主協会は冬柴国土交通大臣（当時）に航行安全の確保を要望し

たが、その後も同海域の海賊事件が頻発したため、2008年10月にも金子国土交通大臣（当時）に海賊防止のために効果的・具体的な対策を講じるよう要望した。

一方、国連の安全保障理事会は事態を重く受け止め、2008年10月、各国に海賊対策のため軍艦や軍用機を配備するなどの対応を促す決議を採択し、これを受けて有志連合軍（CTF151）、EU軍のほか、ロシア、インド等十数カ国が約20隻以上の艦船を派遣した。

このような国連安保理の決議を追い風とし、日本船主協会は2009年に入ってから、麻生内閣総理大臣（当時）、河村内閣官房長官（当時）、浜田防衛大臣（当時）等の閣僚や、超党派の国会議員で構成される海事振興連盟に対して海上自衛隊艦船の派遣を要望した。



麻生内閣総理大臣（当時）・河村内閣官房長官（当時）に要望書を提出

(2) 海上自衛隊による海賊対処活動

政府は、2009 年 1 月 28 日、安全保障会議において自衛隊法第 82 条による海上警備行動の発令により海上自衛隊を派遣する方針を固め、3 月 13 日に海上警備行動を発令した。翌 14 日、護衛艦「さみだれ」「さざなみ」の 2 隻がソマリア沖・アデン湾へ派遣されるとともに、5 月 28 日には P-3C 哨戒機 2 機がジブチに派遣され、アデン湾海域での海賊対処活動が開始された。



海上自衛隊呉基地にて護衛艦第一陣の出港式典出席

さらに、6 月 24 日に海賊行為の処罰および海賊行為の対処について規定する新法が恒久法として公布され、その 1 ヶ月後の 7 月 24 日に施行された。第 2 陣として派遣された護衛艦「はるさめ」「あまぎり」は、7 月 28 日より同法による海賊対処行動に基づく護衛活動を開始した。同法により、外国関係船舶を含むすべての船舶の護衛が可能となった。

なお、これら海上自衛隊艦船による護衛は、護衛対象の商船が船団を組み、この前後を護衛艦が伴走する形で行われている。

(3) 護衛活動実績

海上自衛隊による護衛活動実績は、2008 年 3 月 30 日から 2009 年 2 月 12 日現在で、実に 107 回を数え、護衛船舶総数は 632 隻、うち日本関係船は 275 隻にもものぼる（【表 2】参照）。

これらわが国の護衛活動は、直接護衛方式を採用していることや護衛スケジュールの正確性等の理由から、内外の関係者よ

【表 2】海上自衛隊護衛実績

	海上警備行動による護衛 (08/3/30～7/20)	海賊対処行動による護衛 (08/7/28～09/2/12)
護衛活動	計 41 回 (東航 20 回 西航 21 回)	計 66 回 (東航 33 回 西航 33 回)
護衛船舶数	121 隻	511 隻
(うち日本関係船)	(121 隻)	(154 隻)
(1 回当たり平均船舶数)	(3.0 隻)	(7.7 隻)

りきわめて高い評価を得ている。実際、護衛船団に対する海賊行為は皆無であり、護衛を受けた船舶をはじめとして、国際海事機関（IMO）や国際的な船主団体である国際海運会議所（ICS）から感謝の声が届けられている。

今後の海賊問題への日本船主協会対応

ソマリア周辺海域における海賊事件が一向に減少の兆しが見えないこと、また 3 月から 5 月にかけて海賊事件が多発する傾向にあることから、日本船主協会 宮原耕治会長は、2010 年 1 月 15 日に前原国土交通大臣、1 月 18 日に北澤防衛大臣に面会し、護衛活動の継続と護衛頻度の増加も含めたより効果的な活動の実施について要望を行った。

同海賊問題の解決には、ソマリア国の自立・安定が不可欠であるが、短期的には困難であり、当面、護衛活動の継続が是非とも必要とされる。

日本船主協会としては、わが国の経済および国民生活に必要な物資の安定輸送に資するため、今後もわが国政府と協調して日本商船隊の安全かつ円滑な航行を確保するよう対応していく。■



前原国土交通大臣に要望書を提出



北澤防衛大臣に要望書を提出

【参考】これまでの海賊対策の流れと日本船主協会の活動の概略

2008-4-22	冬柴鐵三国土交通大臣（当時）に、日本籍大型原油タンカーが不審船からの発砲で被弾した事件の発生を踏まえ、安全確保のための万全の対応を要望
2008-9-12	アデン湾航行安全対策本部 設置（本部長：寛孝彦新和海運社長、当時）
2008-10-10	金子一義国土交通大臣（当時）に前川会長（当時）が面会し、海賊事件が頻発する状況に鑑み海賊を防止するより効果的かつ具体的な対策を要望
2008-11-26	定例記者会見において、前川会長（当時）は、日本の艦船を派遣することも含めて早急にできる具体的対策の実行を政府に求めたい旨をコメント
2009-1-5	麻生太郎内閣総理大臣（当時）・河村建夫内閣官房長官（当時）に前川会長（当時）が面会し、まずは現行法の枠組みでの海上自衛隊艦船の即時派遣を要望
2009-1-7	日本船主協会と全日本海員組合は、現行法の枠組みでの海上自衛隊艦船の即時派遣を政府へ要望する共同声明を発表
2009-1-15	海事振興連盟の会合において、一日も早い対策の実施へ協力を要請。同連盟は、まずは現行法の枠組みの中で海上自衛隊艦船の派遣の早急な実施が極めて重要との認識で一致し、その実現に取り組むとする決議を採択
2009-1-15	浜田靖一防衛大臣（当時）に前川会長（当時）が面会し、海賊問題への対応について協力を要請
2009-1-16	海事振興連盟 中馬弘毅会長（当時）は、麻生太郎内閣総理大臣（当時）に面会し、上記決議に基づき、海上自衛隊艦船の派遣の早急な実施を要望
2009-1-28	麻生太郎内閣総理大臣（当時）および関係閣僚による安全保障会議において、自衛隊法第 82 条による海上警備行動を発令して海上自衛隊艦船をソマリアへ派遣する方針が固まり、浜田靖一防衛大臣（当時）は、海上自衛隊へ艦船の派遣に向けた準備を指示
2009-3-14	海上自衛隊護衛艦第 1 陣「さみだれ」「さざなみ」が呉基地より出港
2009-4-21	衆議院 海賊・テロ特別委員会に前川会長（当時）が参考人として出席・発言
2009-4-23	衆議院にて「海賊行為の処罰及び海賊行為への対処に関する法律（以下：海賊対処法）」案が可決
2009-5-13 ～ 15	新聞主要各紙に海賊対処法に対する意見広告を掲載
2009-5-28	陸上自衛隊 P-3C 哨戒機が厚木航空基地より出発
2009-6-19	海賊対処法可決・成立、同日宮原会長は感謝のコメントを発表（同 7 月 2 日には官邸訪問）
2009-6-24	海賊対処法公布
2009-7-6	海上自衛隊護衛艦第 2 陣「はるさめ」「あまぎり」が横須賀・舞鶴基地より出港
2009-7-24	海賊対処法施行
2009-8-16	海上自衛隊護衛艦第 1 陣が呉基地に帰港
2009-10-13	海上自衛隊護衛艦第 3 陣「たかなみ」「はまぎり」が横須賀基地より出港
2009-11-29	海上自衛隊護衛艦第 2 陣が横須賀・舞鶴基地に帰港
2010-1-15	前原誠司国土交通大臣に宮原会長が面会し、同海域での海賊事件減少の兆しが見られないことから、より効果的な護衛活動実施のためにあらゆる手段を検討いただくよう要望
2010-1-18	北澤俊美防衛大臣に宮原会長が面会し、海賊問題への対応について協力を要請
2010-1-29・30	海上自衛隊護衛艦第 4 陣「おおなみ」「さわぎり」が横須賀・佐世保基地より出港